

造園業

加藤造園様

目的・課題 ファイル管理の一元化

導入商品

NAS(ファイルサーバー)

法人向けNASを導入して 業務データを一元管理。 外付けHDDによるバックアップも含め 安全性の高いデータ管理体制を構築

昭和26年の創業以来、豊田市を中心に官公庁から個人宅まで幅広い顧客を対象とした造園工事、エクステリア工事、緑地管理、庭園メンテナンスを手がける加藤造園株式会社(以下、加藤造園)。同社は、それまでファイルサーバーとして利用していた家庭向けNASの不具合をきっかけにデータ管理体制の見直しが必要と判断。新たに法人向けNASを導入するとともに、外付けHDDにも自動バックアップをとることで安全性の高いデータ管理を可能にしました。併せて遠隔による機器の一括管理を行うことで、万が一機器に不具合が生じた時も迅速に復旧対応できる保守体制を構築しました。



導入先プロフィール(2024年3月現在)

施設名 | 加藤造園株式会社
所在地 | 〒471-0032 愛知県豊田市日南町1丁目28番地
URL | <https://www.kato-zoengyo.com>

お客様の 課題

トラブル時の対応を含めて安心して運用できる データ管理体制を構築したい

- 使用していたNASが故障 ▶ 新しいNASの導入が必要
- 保存データが膨大で移行が大変 ▶ 製品選定・データ移行をサポート
- トラブル時の対応に不安 ▶ 機器の保守・管理まで任せたい

課題への 対策

法人向けNASを導入し、遠隔でステータス監視を実施
保守契約により機器のトラブル時に復旧可能な体制を構築

法人向けNAS導入で業務に専念できる環境に

- ☑ 新しいNASへデータ移行 ▶ 安全性の高いデータ管理が可能に
- ☑ 法人NASの導入 ▶ 社内・各現場での業務効率化に期待
- ☑ 保守契約でNASを一元管理 ▶ 不具合時の迅速な対応が可能に

POINT



大切なデータの消失リスクを低減し、
安全性の高いデータ管理体制を構築できる

お客様インタビュー

加藤造園株式会社
代表取締役社長



加藤 政喜氏

NASの更新による作業負担軽減と 機器故障への不安解消に効果を実感。 ペーパーレス化や現場からの データ閲覧など今後の有効活用にも期待

概要

- ・ 安全性の高いデータ管理が可能に
- ・ 今までと同様の操作感で運用可能

法人向けNASでデータ管理体制を強化

豊田市を中心に、造園工事に伴う土木工事や、植栽・移植・庭園・公園・個人邸などの維持管理業を手がける加藤造園。同社は、約10年使用していたNASの故障をきっかけにデータ管理体制の強化に着手。新たに法人向けNASを導入するとともに、遠隔監視による機器の保守・管理体制を構築することで安全性の高いデータ管理が可能になりました。

今後はNASの用途拡大も構想

導入した法人向けNASに今までのデータをすべて移行し、新たな共有ファイルサーバーとして運用を開始。同一メーカーによる製品入れ替えのため、今までと同様にストレスなくNASへのアクセスや画面操作が可能です。今後は各現場にいながらスマホやタブレットを用いてNASのデータ閲覧や格納ができるようにするなど有効活用も視野に入れた運用を構想しています。

目標・課題

- ・ 使用していたNASが故障
- ・ データ管理体制の見直しが急務

NASが故障し業務データ閲覧ができない状態に

加藤造園では約10年前からファイルサーバーとして家庭向けNASを利用し、これまでの仕事の記録や現場の工事写真、経理関連などの業務データを保存・管理していました。しかし、機器の耐久年数を超過して使用していたこともあり、会社での停電をきっかけにNASの電源が故障。各パソコンからアクセスできず業務データを閲覧できないトラブルに見舞われました。

一部データが消失し職員の作業負担が増加

加藤造園株式会社 加藤 政喜氏（以下、加藤氏）は「修理会社に持ち込み、何とか復旧しました。しかし、保存していたデータは無事だったものの、過去のデータを見ながら書類を作る通常作業が出来ず、社員に負担がかかったという形に。そうした経験からトラブル時の対応を含めてデータ管理体制の強化が必要だと強く感じました」と話します。

解決策

- ・ 法人向けNASでデータを一元管理
- ・ リモート管理サービスを導入

法人向けNASの導入で機器の信頼性が向上

共有ファイルサーバーとして、新たに法人向けNASを導入。2台1組のドライブに同時記録・保存を行うRAID1を組むことでデータの消失リスク低減を図りました。また、外付けHDDに自動バックアップを取ることで安全性を強化。導入したNASの操作に関しても、以前と同じメーカーの製品を選定することで今までと同様の使用感を維持しています。

機器トラブルの際も迅速に対応できる体制を構築

NAS導入にあたり、同社は機器トラブル時の対応も懸念していました。そこで、遠隔による機器の稼働状況の把握や簡易操作が可能なりモート管理サービスを導入し、ひまわりネットワークが機器管理・保守をサポート。バックアップエラーなどの機器トラブルが起きても自動通知が届くため、バックアップに失敗したまま放置されるような事態はなく即座に修理・復旧作業にあたることができます。

効果

- ・ 安心して業務に専念できる環境に
- ・ いずれは各現場からもアクセス可能に

作業負担軽減および機器管理の不安解消に効果

NASの安定稼働およびバックアップを含む安全性の高いデータ管理体制の構築により、業務に専念できる環境が整いました。加藤氏は「NASの更新による作業負担軽減と機器故障への不安解消に効果を感じています。今まで書類データは紙資料でも保管していましたが、NAS導入を機に必要な最小限の資料を残してペーパーレス化も図っていきたいです」と話します。

NASを有効活用し業務効率化を図りたい

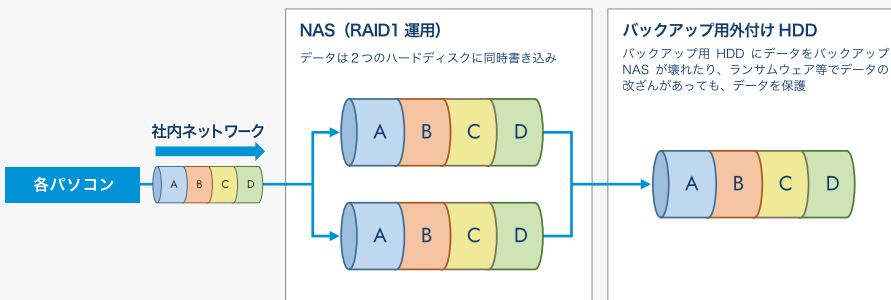
また、同社では将来的なNASの有効活用も構想。現在は社内パソコンからのアクセスがメインですが、今後は各現場からスマホやタブレットでNASにアクセスして必要なデータを閲覧したり、データを格納したりと業務効率化への期待も高まっています。



新しい共有ファイルサーバーとして法人向けNASを導入

イメージ図

加藤造園 データ保護の仕組み



法人向けNASを導入し、RAID1を組むことでデータ消失のリスクを低減。外付けHDDへの自動バックアップも含めて安全性の高いデータ管理体制を構築した。また、機器にトラブルがあった際も即時対応が可能なオンサイト保守を採用することで安心して運用できる環境を実現。